

第1章 3 未来へつなぐ

おおかわ 大川小学校で起きたことを忘れず、かけがえのない命を守るために、わたし 大川にはなにができるのでしょうか。

覚えていてくれたら

青い空

赤い屋根

緑の山

北上川のほとり

桜の下で食べた給食

図書室には絵本がたくさんあって

中庭では一輪車の練習

校庭の土俵で相撲大会

あの冬には池のそばに

ソーラーのツリーができたばかり

稲刈り

植樹

牡蠣むき

シイタケ栽培

楽しく学び遊ぶ子どもたちと先生

地域の人たちに見守られて

ここはそんな場所だったんだ

覚えていてくれたらいいな



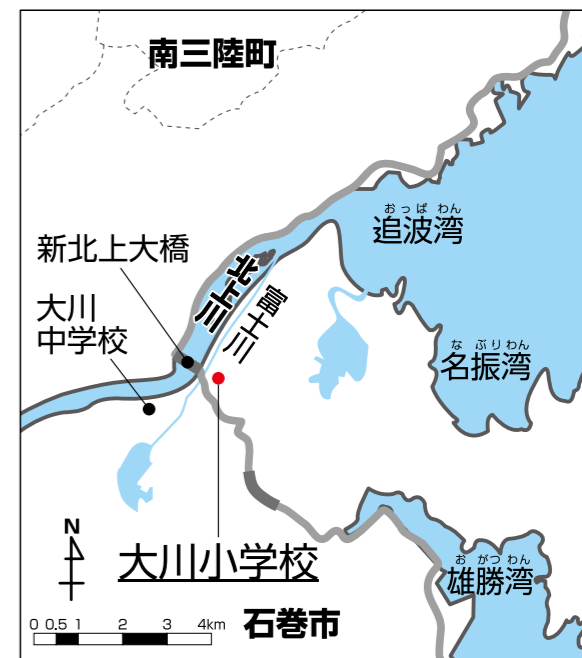
ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災では、とうほくちほう 東北地方をはじめとしたたいへいようえんがん 太平洋沿岸の多くの地域に、つなみ 津波によるひがい 被害が発生しました。

いしのまさき 石巻市立大川小学校では、この津波により、きょうしやくいん 児童74人と教職員10人が犠せい 牲になりました。

津波は北上川をさかのぼって、海から4km離れたこの場所にもおし寄せたのです。

2階建ての校舎の屋根に達するほどの津波でした。

卒業式の1週間前でした。



(※地図データは震災前のもの)



きょう 今日と同じあした 明日が来るとは限りません。いつものけしき 景色、いつもの教室、「ただいま」や「ありがとう」ともだち 友達、家族、町、……。けっしてあたりまえではないことをあらためて気づかされました。

私たちにできることはなんだろう。

かけがえのない命を守るために。

未来へつなぐために。



自然に囲まれた大川小学校 (被災前)



校舎を囲む桜並木 (被災前)